

- program on psychological and physiological indicators among marine hazard rescues. J Occup Health. 2004 Nov;46(6):497-9.
- Okuda M, Uemura M, Yamami N, Ogiwara R, Mano Y, Hosaka T, Mizuno E, Aoyagi M.: A study on fatigue and health disturbance in caregivers of the elderly at home. プライマリ・ケア 27: 9-17, 2004
- Matsubayashi H, Shida M, Kondo A, Suzuki T, Sugi T, Izumi S, Hosaka T, Makino T.: Preconception peripheral natural killer cell activity as a predictor of pregnancy outcome in patients with unexplained infertility. Am J Reprod Immunol 53: 126-131, 2005
- Kamiyama K, Yamami N, Sato K, Aoyagi M, Kyoya M, Mizuno E, Uemura M, Kawamoto Y, Okuda M, Togawa S, Shibayama M, Hosaka T, Mano Y.: Effects of a structured stress management program on psychological and physiological indicators among marine hazard rescues. J Occup Health. 2004 Nov;46(6):497-9.
- Okuda M, Uemura M, Yamami N, Ogiwara R, Mano Y, Hosaka T, Mizuno E, Aoyagi M.: A study on fatigue and health disturbance in caregivers of the elderly at home. プライマリ・ケア 27: 9-17, 2004
- Sugawara Y, Akechi T, Okuyama T, Matsuoka Y, Nakano T, Inagaki M, Imoto S, Fujimori M, Hosaka T, Uchitomi Y.: Occurrence of fatigue and associated factors in disease-free breast cancer patients without depression. Support Care Cancer. 2005
- 保坂 隆, 寒河江和子, 堀 美智子: 患者とのコミュニケーション—睡眠導入薬を例に一調剤と情報 11:147-156,2005
- \* 町田いづみ, 保坂 隆: リフレーミング。プチナース 14(7): 80-83, 2005
- 保坂 隆: 病院経営からみたメンタルケア。医療経営 249: 70-71,2005
- 保坂 隆: スポーツとうつ病・統合失調症・認知症・てんかん。臨床スポーツ医学 22:291-295, 2005
- 保坂 隆: リエゾン精神医学—がん患者の心のケア。緩和医療学 7: 117-118, 2005
- 町田いづみ, 保坂 隆: 転移。プチナース 14(8): 66-69, 2005
- 町田いづみ, 保坂 隆: 患者さんの理解度をアップさせるスキル。プチナース 14(9): 64-67, 2005
- 町田いづみ, 保坂 隆: 睡眠障害・反応タイプ。緩和医療学 7: 323-326, 2005
- Ichimura A, Matsumoto H, Kimura T, Okuyama T, Hosaka T.: Change in mental disorder distribution among suicide attempters in mid-west are of Kanagawa. Psychiatry & Clin Neurosci 59: 113-118, 2005
- 町田いづみ, 保坂 隆: 告知。緩和医療学 7: 429-432, 2005
- 保坂 隆: 人間ドックとメンタルヘルスについて。人間ドック 20:112-127, 2005
- 保坂 隆: スポーツ精神医学。総合病院精神医学 17: 300-302, 2005
- 保坂 隆: 身体科医と精神科医の連携。総合臨床, 54: 3082-3085, 2005

- 保坂 隆, 小島卓也：新医師臨床研修制度の現状と課題—精神科七者懇卒後研修問題委員会より。精神神経学雑誌 107: 836-840, 2005
- 町田いづみ, 保坂 隆：家族とのコミュニケーション。プチナース 14(15): 42-45, 2005
- 保坂 隆：パニック障害以前の不安神経症。最新精神医学 10: 623-624, 2005
- 町田いづみ, 保坂 隆：一般病棟でみられるうつ状態への対応。プチナース 15(1): 36-39, 2006
- 保坂 隆：疲労感への医療援助—無気力から過労死まで。総合臨床 55: 31-34, 2006
- 保坂 隆：緩和医療におけるサイコオンコロジー。臨床外科 61: 173-175, 2006
- 保坂 隆, 小島卓也：「新卒後臨床研修制度の実際的問題」のまとめと意義。精神神経学雑誌 107: 563-564, 2005
- 保坂 隆：コンサルテーション—リエゾン。心療内科 10: 6-10, 2006
- 保坂 隆：身体疾患患者への精神療法。精神科 8: 122-126, 2006
- 町田いづみ, 保坂 隆：せん妄患者さんへの対応。プチナース 15(3): 34-37, 2006
- 保坂 隆：高齢者のリエゾン精神医療とサイコエデュケーション。老年精神医学雑誌 17: 272-276, 2006
- 保坂 隆：看護学生のストレスチェック。プチナース 15(4): 47-52, 2006
- 保坂 隆：医療の質のこれまでとこれから：政策課題は医療費抑制だけではない。Monthly IHEP 140: 21-30, 2006
- 保坂 隆, 小島卓也：「新卒後臨床研修制度の実際的問題」のまとめと意義。精神神経学雑誌 107: 563-564, 2005
- 保坂 隆：コンサルテーション—リエゾン。心療内科 10: 6-10, 2006
- 保坂 隆：身体疾患患者への精神療法。精神科 8: 122-126, 2006
- 保坂 隆：新医師臨床研修制度。医学のあゆみ 217: 337, 2006
- 町田いづみ, 保坂 隆：ラポールの形成につながる「傾聴」「共感」。緩和医療学 8: 87-89, 2006
- 町田いづみ, 保坂 隆：「傾聴」「共感」を伝える非言語的技術。緩和医療学 8: 191-194, 2006
- 保坂 隆：がん患者・家族の精神状態とケアの必要性。消化器・がん・内視鏡ケア 11(1): 50-52, 2006
- 保坂 隆：消化器がん患者・家族のメンタルケア。消化器・がん・内視鏡ケア 11(2): 46-49, 2006
- 保坂 隆：新医師臨床研修制度。医学のあゆみ 217: 337, 2006
- 守屋明子, 保坂 隆：精神科デイケアにおけるスタッフチームの情報共有。精神科臨床サ—ビス 6: 138-141, 2006
- 町田いづみ, 保坂 隆：高齢化社会における在宅介護者の現状—精神症状を中心に—。緩和医療学 8: 279-286, 2006
- 保坂 隆：在宅介護者のうつ病。医学のあゆみ 218: 972-973, 2006
- 保坂 隆：自殺企図は減らすことができるか？医学のあゆみ 218: 1039-1040, 2006

- 保坂 隆：サイコオンコロジーの概念と我が国の現状。日本臨床 65: 109-114, 2007
- 保坂 隆：緩和医療におけるコミュニケーション。緩和医療学 9: 1-2, 2007
- 保坂 隆：緩和医療におけるコミュニケーションー精神科医の立場から。緩和医療学 9: 41-46, 2007
- 町田いづみ,保坂 隆：高齢化社における介護者の現状と問題点ーうつ病および自殺リスクに関してー。最新精神医学 11: 261-270, 2006
- 町田いづみ,保坂 隆：高齢化社会における在宅介護者の現状と問題点ー心身の健康感についてー。訪問看護と介護 11: 686-693, 2006
- 保坂 隆：患者本人への非告知のケース。消化器・がん・内視鏡ケア 11(3): 60-63, 2006
- 保坂 隆：がんを否認する患者と「がん＝死」と思った夫のケース。消化器・がん・内視鏡ケア 11(4): 41-45, 2006
- 保坂 隆：ソーシャル・サポート。消化器・がん・内視鏡ケア 11(5): 37-40, 2006
- 保坂 隆：こころの道しるべ10カ条。消化器・がん・内視鏡ケア 11(6): 42-46, 2006
- 保坂 隆：自殺企図者の背景ー自殺企図者 1,000 例の検討。医学のあゆみ, 2007
  
- 安西信雄：新しい地域ケアのありかた。日本医師会雑誌特別号 131(12), 323-325, 2004
- 安西信雄, 池淵恵美：精神障害者の地域ケアの中での社会生活技能訓練。行動療法研究30(1), 11-22, 2004
- 安西信雄, 瀬戸屋雄太郎：精神保健福祉の動向と社会的入院者の退院問題。作業療法ジャーナル 38(12): 1090-1096, 2004
- 安西信雄, 槇野葉月：精神科リハビリテーションの概念と意義。精神科 5(3): 169-172, 2004
- 安西信雄：退院における障害と支援方法。精神科臨床サービス 4(3): 388-393, 2004
- 安西信雄：いま、なぜコーピングスキルに注目するのか？。精神看護 7(2): 12-15, 2004
- 安西信雄（主任研究者）：平成 15 年度精神・神経疾患研究委託費 15 指-1 精神科在院患者の地域移行, 定着, 再入院防止のための技術開発と普及に関する研究（総括研究報告書）。2004 年 4 月
- 安西信雄（分担研究者）, 佐藤さやか, 天笠崇, 石原明子：長期在院患者の地域移行の阻害要因・促進要因の実態調査および文献研究。平成 15 年度精神・神経疾患研究委託費 15 指-1 精神科在院患者の地域移行, 定着, 再入院防止のための技術開発と普及に関する研究（主任研究者：安西信雄）
- 安西信雄（主任研究者）：平成 15 年度厚生労働科学特別研究事業 精神障害を有する者にかかるケアニーズの適切な評価に関する基礎的調査研究 総括研究報告書。2004 年 4 月
- 安西信雄, 瀬戸屋雄太郎, 磯谷悠子, 八木奈央：社会復帰リハビリテーション病棟に関する研究。平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金（障害保健福祉総合研究事業）「精神科病棟における患者像と医療内容に関する研究（主任研究者:保坂隆）」研究報告書。pp52-63, 2005.

- 安西信雄, 西村秋生, 山内慶太, 三村将, 佐藤久夫, 天笠崇, 湯汲英史, 宮本有紀, 荒田寛, 瀬戸屋雄太郎, 小高真美, 榎野葉月, 中西三春: 精神及び知的障害者の介護ニーズの評価手法の開発に関する研究. 平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金 (長寿科学総合研究事業) 「要介護状態の評価における精神, 知的及び多様な身体障害者の状況の適切な反映手法の開発に関する研究 (主任研究者: 遠藤英俊)」研究報告書. pp18-87, 2005.
- 安西信雄: 精神科在院患者の地域移行, 定着, 再入院防止のための技術開発と普及に関する研究 (15 指-1). 総括研究報告書. 2005.
- 安西信雄, 瀬戸屋雄太郎, 佐藤さやか, 天笠崇: 国立病院・療養所等への集中的リハビリテーションの普及方法の開発と実践. 平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金 (長寿科学総合研究事業) 「精神科在院患者の地域移行, 定着, 再入院防止のための技術開発と普及に関する研究 (主任研究者: 安西信雄)」研究報告書. 2005.
- 安西信雄: いま, なぜコーピングスキルに注目するのか? 特集: つらい「幻聴」とうまくつきあうーコーピングスキルの獲得. 精神看護 7(2): 12-15, 2004
- 安西信雄: 新しい地域ケアのありかた. (□. 統合失調症ー最新の知見. 発症の背景からリハビリテーションまで). 上島国利, 牛島定信, 武田雅俊, 丹羽真一, 宮岡等編: 精神障害の臨床. 日本医師会雑誌 特別号 131(12): 323-325, 2004
- 安西信雄: 退院における障害と支援方法. 精神科臨床サービス 4(3): 388-393, 2004
- 安西信雄, 瀬戸屋雄太郎: 精神保健福祉の動向と社会的入院者の退院問題. OT ジャーナル 38(12): 1090-1096, 2004
- 安西信雄, 榎野葉月: 精神科リハビリテーションの概念と意義. 精神科 5(3): 169-172, 2004
- 安西信雄: (解説) 心身症の治療 41. S S T (Social Skills Training) 心療内科 8(6): 411-415, 2004
- 瀬戸屋雄太郎, 安西信雄: (コラム精神看護キーワード事典) 介護保険: 精神障害にも導入されると.... 精神看護 7(5): 98-100, 2004.
- 安西信雄, 佐藤さやか: 対処様式・能力. 臨床精神医学 増刊号 79-82, 2004
- 安西信雄, 瀬戸屋雄太郎: 精神障害者の要介護状態の評価について. 日本精神科病院協会雑誌 24(6): 544-549, 2005.
- 安西信雄: わが国の統合失調症の心理社会療法. 日精協誌 24(9): 872-875, 2005
- 瀬戸屋雄太郎, 安西信雄: 退院促進のために必要な診療報酬改定ー精神科回復期リハビリテーション病棟の提案. 精神科リハビリテーション 第 10 巻第 2 号: 2006
- 伊藤順一郎: 精神障害者の地域支援と精神科病院の役割についての試論. 日本精神科病院協会雑誌 Vol.23(9): 23-29, 2004.
- 伊藤順一郎: リハビリテーションの歴史と理念 pp2-10, 精神看護エクスペール, 中山書店, 2004.
- Kishi, Y., Meller, W.H., Swigart, S.E., Kathol, R.G., Are the patients with post-transplant psychiatric consultation different from other medical-surgical consultation inpatients? Psychiatry

Clin Neurosci, 2005;59(1):19-24

○Kishi, Y, Meller, W.H., Kathol, R.G., Swigart, S.E.: Timing of psychiatric consultations: Clinical characteristics related to the timing of consultation Psychosomatics 2004;45(6):470-476

○Kishi Y, Konishi S, Koizumi S, Kudo Y, Kurosawa H, Kathol RG. Schizophrenia and narcolepsy: a review with a case report. Psychiatry Clin Neurosci 2004;58(2):117-24

○岸 泰宏 : 脊髄損傷, 四肢切断。精神科リエゾンガイドライン (精神科治療学編集) 委員会, 星和書店, 東京, 2004, pp231-235

○岸 泰宏, Kathol RG : D P C と精神科。医学のあゆみ 212; 706-707: 2005

○岸 泰宏 米国の終末期医療システムの動向。日本サイコオンコロジー学会ニューズレター37; 12: 2004

○加藤雅志, 岸 泰宏 : DRS-R-98-せん妄への臨床的応用。最新精神医学 9(4); 311-315: 2004

○町田いづみ, 佐藤 武, 岸 泰宏 : 治療計画を立てるための患者評価尺度 (INTERMED) 看護学雑誌 Vol.68 (342-353) 2004

○町田いづみ, 岸 泰宏, 佐藤 武, 保坂 隆 : 治療計画のための患者評価尺 (INTERMED) の応用日本総合病院精神医学 Vol.16 No.2 (147-157) 2004

○Kishi, Y., Meller, W.H., Swigart, S.E., Kathol, R.G., Are the patients with post-transplant psychiatric consultation different from other medical-surgical consultation inpatients? Psychiatry Clin Neurosci, 2005;59(1):19-24

○Kishi, Y, Meller, W.H., Kathol, R.G., Swigart, S.E.: Timing of psychiatric consultations: Clinical characteristics related to the timing of consultation Psychosomatics 2004;45(6):470-476

○Kishi Y, Konishi S, Koizumi S, Kudo Y, Kurosawa H, Kathol RG. Schizophrenia and narcolepsy: a review with a case report. Psychiatry Clin Neurosci 2004;58(2):117-24

○Kathol, R.G., McAlpine, D.D., Kishi Y., Spies, R.B., Meller, H.W., Bernhardt, T., Eisenberg S., Folkert, K., Gold W. Persistently elevated medical and pharmacy claims in patients who use behavioral health services J Gen Intern Med 2005;20(2):160-7

○Kishi Y, Swigart SE, Meller WH, Kathol RG, Thurber S. Anxiety disorders and concomitant characteristics of inpatients referred for psychiatric consultation in a university hospital Psychiatry On-line. 2006 <http://www.priory.com/psych/anxiety.htm>

○岸 泰宏 : 脊髄損傷, 四肢切断。精神科リエゾンガイドライン (精神科治療学編集) 委員会, 星和書店, 東京, 2004, pp231-235

○松木秀幸, 黒澤亜希子, 新井久美子, 松田晃武, 犬尾文昭, 松木麻妃, 岸 泰宏, 堀川直史 : 終末期がん患者の実存的苦痛に対する精神科医の役割。総合病院精神医学17 : 269-277, 2005

○三上克央, 岸 泰宏, 松本英夫 : 思春期における自殺企図の1例:背景となった心理・社会的準備因子の認識と介入の重要性を中心に。精神医学 48: 331-338, 2006

- 森秀樹, 松木秀幸, 岸 泰宏, 堀川直史, 深津亮: 認知症. リウマチ科34: 160-168, 2005
- 森秀樹, 松木秀幸, 岸 泰宏, 堀川直史, 深津亮: 認知症と鑑別すべき病態; 低活動性せん妄, 仮性認知症と軽度意識障害を中心に. 精神科治療学20: 1013-1022, 2005
- 森秀樹, 松木秀幸, 岸 泰宏, 堀川直史, 深津亮: 高齢者にみられる嫉妬妄想. 老年精神医学雑誌16: 1261-1268, 2005
- 堀川直史, 松木秀幸, 岸 泰宏: 精神科受診をどのように勧めるか; 一般診療科と精神科の連携. こころの科学125: 80-86, 2005
- 岸 泰宏, Kathol RG DPCと精神科 医学のあゆみ 212;706-707:2005
  
- 白石弘己 (2005) 「精神神経学会の精神保健福祉法改正に関する見解」精神神経学雑誌 9-968-972
- 白石弘己, 藤井潤 (2005) 「統合失調症と新規抗精神薬の適正使用 患者家族への説明のポイント」薬局 別冊 10-75-80
- 白石弘己, 竹端寛, 川副泰成, 伊藤哲寛, 大原美知子, 小林信子, 里美和夫, 平田豊明, 山角駿 (2005) 「市民団体による精神科病院の情報開示活動の現状と課題」病院・地域精神医学 2-201-202
- 白石弘己, 大原美知子, 青木眞策, 滝沢武久, 石河弘, 樋田なおみ (2005) 「精神保健医療改革と家族 (社会的入院患者)や家族に対する調査をもとに」精神医学 12-1363-1370
- 白石弘己 (2004)「介護保険 障害者福祉施策と介護保険制度についての動き」外来精神医療 1:93
- 白石弘己 (2005)「臨床家のための医学知識 up to date “Life shortening disease”としての統合失調症」作業療法ジャーナル 5:414
- 白石弘己 (2004)「隣接領域レポート 日本病院・地域精神医学会」家族療法研究 3-82-83
- 白石弘己 (2006)「病名告知とその後のサポートについて教えて」ナーシングケア Q&A 9-20-21 東京: 総合医学社
- 白石弘己, 益子茂, 平田豊明, 沢温, 藤村尚宏, 中村満, 梶達彦, 宮田裕章 (2005) 措置入院制度を含む精神科救急医療の適正な供給に関する研究 平成16年度厚生労働科学研究補助金(障害保健福祉総合研究事業)「措置入院制度の適正な運用と社会復帰支援に関する研究」総括・分担研究報告書: 145-177
- 徳永雄一郎: うつ病治療病棟でのクリニカル・パスの実践. 最新精神医学 第10巻 第6号; 579-585, 2005
- 徳永雄一郎: ストレスケア病棟—うつ病治療の実際とその有効性—. Depression Frontier Vol.4 No.2;68-72,2006
- 徳永雄一郎: うつ病治療とストレスケア病棟. 日本精神科病院協会雑誌 Vol.25 No.11;6-10,2006
- 矢崎直人, 徳永雄一郎: わが国のストレスケア病棟. 週刊医学のあゆみ. 第5土曜特集・

うつ病のすべて. Vol219.No13;991-995,2006

○平田豊明：精神科救急医療システムの全国状況. 精神科救急 9:45-50, 2006

○平田豊明, 市江亮一：精神科救急病棟における治療内容の検討－鎮静法、薬物療法、電気けいれん療法の現状. 臨床精神薬理 9:1343-1353, 2006